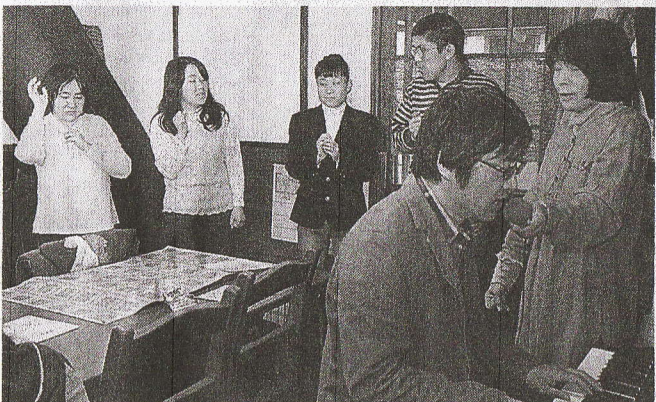


パン作りの夢へ一步



阿蘇市の池邊さん

自立支援施設の仲間に

パン作りなどで障害者の自立を支えている阿蘇市蔵原の地域活動支援センター「夢屋」の入所式が7日あり、

パン屋で働く夢を持つ同市湯浦の池邊美早さん(19)が入所、新しい仲間が加わった。

夢屋は1995年に開所。知的、精神、身体障害がある人などがパン作りや得意先へ

の配達をしている。昼食はカレーなどを自分たちで調理している。

池邊さんは、両親によると小学生のときからコミュニケーションを取るのが苦手な傾向があるという。3

月から両親の知人の紹介で夢屋へ通っていた。入所式では、夢屋代表の宮本誠一さん

夢屋の宮本誠一代表(手前)の歌に合わせてメンバーと一緒に手話を披露する池邊美早さん(左から3人目) 阿蘇市の地域活動支援センター「夢屋」

↑ (48の歌に合わせて、メンバーと一緒に手話を披露もした。

池邊さんは週4回程度通い、パン作りや配達などに励む。父親の義美さん(70)は「メンバーとの触れ合いなど経験を積んでほしい」と期待。池邊さんは夢に向かって頑張りたいと意気込んでいる。

(福山聡一郎)